

第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」

バレーボール競技実施要領

1 競技規則

令和6(2024)年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則(公益財団法人日本パラスポーツ協会制定)によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

全てのチームにおいて監督及びコーチがプレーヤーを兼ねる場合は、プレーヤー名簿に登録されていなければプレーヤーとして出場できない。この場合のプレーヤー人数は、プレーヤーを兼ねる監督及びコーチを含めて12名以内とする。

(1) 身体障がい者(聴覚)のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、手話通訳者1名及びプレーヤー12名以内とする。

イ 男女別にチームを編成する。

(2) 知的障がい者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名及びプレーヤー12名以内とする。

イ 男女別にチームを編成する。

(3) 精神障がい者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名及びプレーヤー12名以内とする。

イ 男女混合でチームを編成する(試合中は少なくとも1名以上の女性プレーヤーが出場していなければならない。)

3 競技方法

(1) 試合は、身体障がい(聴覚)の部(男女別)、知的障がいの部(男女別)及び精神障がいの部ごとにトーナメント方式とし、3位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に、交流戦を実施する。

(2) 全試合3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。

(3) 1セット25点のラリーポイント制とする。(ただし、交流戦の3セット目は15点のラリーポイント制とする。)なお、得点が「24対24」(交流戦3セット目は「14対14」)の同点となった場合、それ以降は、2点リードしたチームをそのセットの勝者とする。

(4) 第3セットでは、いずれかのチームが13点(交流戦は8点)先取したときにコートの変更を行う。

(5) 試合は、ワンボールシステムで行う。

(6) 設定時刻より早く試合を開始することはない。設定時刻を超える場合は直前の試合終了の10分後にプロトコールを開始する。ただし、連続試合となる場合は試合終了後の20分後にプロトコールを開始する。

4 服装等

(1) 背番号は、1番から12番までとする。やむを得ない場合は、1番から99番まで認める。また、ユニフォームに都道府県名・指定都市名を表示し、チーム名、キャプテンマーク及び背番号等のサイズは、規定のものとする。

(2) リバロプレーヤーを採用する場合は、他の競技者と明確に区別できるユニフォー

ムを着用する。

5 ネットの高さと試合球

(1) ネットの高さは、次のとおりとする。

ア 身体障がい(聴覚)の試合 男子 2.43m、女子 2.24m

イ 知的障がいの試合 男子 2.30m、女子 2.15m

ウ 精神障がいの試合 2.24m

(2) 身体障がい(聴覚)及び知的障がいの試合球は、次の公益財団法人日本バレーボール協会検定球5号球とする。

ア 男子:ミカサ製カラーボール(V300W)

イ 女子:モルテン製カラーボール(V5M5000)

(3) 精神障がいの試合球は、日本ソフトバレーボール連盟公認球ソフトバレーボール球・糸巻きタイプ(モルテン製:円周 78±1cm、重量 210g±10g)(S3Y1500-WX)とする。

6 組合せ

組合せは、令和6(2024)年7月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下に代理抽選の上、決定する。

7 表彰式

表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

8 その他

(1) 監督会議は令和6(2024)年10月25日(金)に行う。なお、時間及び場所については別途通知する。

(2) ベンチには、プレーヤー、監督、コーチ、マネージャー及び手話通訳者以外は入ることができない。なお、手話通訳者は、参加申込時に登録した者とする。

(3) 監督、コーチ、マネージャーは規定の各章を左胸部につけることとし、未着用の場合はベンチに入ることができない。

(4) チームスタッフ3名(身体障がいの部のみ手話通訳者を含めた4名)とは別にトレーナーを帯同しているチームは、チーム・ベンチ・エリア後方の決められた位置にトレーナー1名を待機させることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは、実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。

(5) 監督、コーチ、マネージャー、手話通訳者は統一された服装を着用すること。

(6) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。

(7) 身体障がいの部の競技会場においては、メインアリーナはタラフレックス(長尺弾性塩ビシート)コートで、サブアリーナは木製フロアで競技を行い、知的障がいの部及び精神障がいの部の競技会場においては、タラフレックス(長尺弾性塩ビシート)コートで競技を行う。

(8) 練習球は、各チームで用意する。

(9) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。

(10) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。